

おいでよ！！うつぐみの郷・夏

8月14日（日）～8月17日（水）

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	周辺散策・農業体験	天体観測所見学
2日目	遠足（ふれあい牧場）	休憩・周辺散策	お祭り
3日目	遠足（海水浴）	休憩・農業体験	まったりタイム
4日目	調理・農業体験	清掃・解散	

一日目： 夏の里山が始まりました。天候はあまり良くない予報でしたが、なんとか雨は降りませんでした。各集合へ順番にお迎えし、綾部へ向かいました。道中、徐々に人が増えてくるので、車内も合わせて賑やかになってきました。施設に到着し、荷物を搬入させ、早速昼食を取りました。施設のお約束を聞き、まずは施設の周辺を散歩に出掛けました。皆さんが住まれている街中とは違い、あちこちに自然が溢れており、虫を捕まえたり、蟹を探したりしました。今晚の夕飯は【冷やし中華】です。皆で協力して作りしました。夜のプログラムとして、市内にある天文科学館“パオ”へ向かいました。行く前までは曇り空でしたが、なんと到着時には晴れており、星がキレイに輝いていました。大型の天体望遠鏡も覗かせていただき、星空を堪能することが出来ました。就寝は大きな和室に皆で布団を敷き詰めて寝ます。皆で川の字になって寝ることが楽しく、話し声が聞こえていましたが、しばらくするとお休みになりました。

二日目： 起床時間前から目覚めている方は何名かおり、起床の合図と共に元気よく起きてこられました。布団を片付け、着替え洗面を済ませ、座卓を並べ、朝食の準備を行いました。メンバーの中には、朝が苦手で動いていない方に声掛けをされている様子が伺え、大家族のような雰囲気でした。うつぐみの郷では、朝食後に毎日【うつぐみタイム】を行います。こちらは奉仕活動で、清掃や草引きなどを通して、『うつぐみの心』を持っていただきます。暑い中、誰一人文句を言わず、取り組まれていました。うつぐみタイム後は遠足に出掛けました。施設近くにある、“ふれあい牧場”へ出掛けました。この日もとても暑く、動物達はへばっていましたが、メンバー皆さんは元気そのもので、牧場内をあちこち行き、楽しんでいました。帰りに新しい友達を迎えに駅まで行きました。午後になると、気温も更に上がり、外での活動は難しいと判断し、部屋でゆっくりする時間としました。それでも動きたい方が多数おられたので、二日目から合流の友達と一緒に周辺散策に出掛けました。二日目に帰られる友達が帰る準備を進め、出発の時間となり、残っている皆でお送りをしました。離れる車内で「もっといたい！！」と仰っている方もおられました。夕飯後、予定を変更し、隣町“福知山市”へ向かい、お祭りへ行きました。メンバーの中にはしばらくお祭りに行けていなかった方もおられ、露店が並ぶ景色に興奮されていました。この日の夜は、皆から疲れの色も見られ、すぐに眠られました。



三日目： 天気予報では、厚い雲に覆われ、雨が降る予報でしたが、実際は朝日が部屋を照り付けていました。今日の遠足は日本海に行き、【海水浴】をしに行きます。皆、海水浴がとても楽しみなようで、いつも以上にテキパキと動かっていたように感じました。海に向かう道中でしっかりと休み、海水浴では溜めたパワーを解放し、休むことなく楽しまれていました。浅瀬で楽しんだり、防波堤まで遠泳したり、砂で造形を作ったり、ビーチフラッグをしたりしました。帰りの車内は誰一人喋ることなく、皆休まれていました。午後から少しずつ天候が崩れてきており、施設に戻り、昼食を済ませた後は、疲れも残っているので、休憩としました。休憩して間もなく、今日帰る組の送り時間となりました。残るメンバーもバスに同乗し、駅まで見送りました。その帰り道に翌日の朝食の食材を購入しに行きました。何を食べようか考え、買い物を楽しんでいました。昼食が遅めだったこともあり、夕食は少し遅めに取りました。時間を気にせずに、談笑を楽しみつつ、ゆったりとした時間を過ごし、最後の夜を楽しみました。



四日目： この日は生憎朝から雨模様でスタートしました。朝食は昨日、自分達で考えたメニュー、【パンケーキ】をつくりました。朝食後は、畑に出来ている野菜を収穫しました。オクラの実の成り方に驚かれています。収穫した野菜は昼食に使います。雨脚が強くなってきたので、屋外の作業はストップし、屋内で過ごしました。昼食作りが主となりましたが、馴れた手付きで作業されていました。メニューは【夏野菜カレー】です。食欲旺盛な方々だったので、あっという間に完食されました。食後は【うつぐみタイム・極】です。お世話になった施設をくまなくキレイにします。風呂やトイレ、台所など屋内だけではなく、屋外の清掃もしました。楽しかった四日間もおしまいを迎えようとしています。帰りは宝塚、尼崎と順番に帰っていきますので、車内に残るメンバーは別れる友達対して寂しく、哀しそうな表情をされていました。

<キャンプ総括>

うつぐみの郷の夏を初めてみんなで過ごすことが出来ました。近隣に遠足に出掛けたり、急遽福知山市のお祭りに参加したりと、【夏】を存分に堪能することが出来たのではないのでしょうか？キャンプ中にスタッフと、「うつぐみでのキャンプっていつも以上に体が重くない？」と話した時がありました。他のキャンプなら難なく動ける事でも、うつぐみではどうも体が重たいです。その理由は『ホーム』だと私は思います。他のキャンプ場では感じられない落ち着き感があり、体はゆっくりしたいのですが、頭では通常のキャンプのように動こうとするので、その差が重たく感じさせるのだと思います。うつぐみにお越しいただいた皆様には、決して急かすような事は言いません。ゆったりした時間を感じていただきます。同時に我々側も急ぐことのないような動きを考えなければいけないと感じました。せっかく自然豊かな田舎暮らしを体験しにお越しいただいていますので、皆でのんびり、ゆったりしたいです。 (竹中 哲郎)